

玉城デニーさん「トークキャラバン in 大阪」を支援する有志の会（仮）趣意書

2019年2月、沖縄では辺野古の基地建設の是非を問う県民投票が行われ、「辺野古基地建設NO」の民意が示されました。それでも辺野古の工事は継続されています。

「普天間」にも「辺野古」にも基地はいらぬという沖縄の民意が改めてはっきりと示された中、次にどうするのかを考えなければならないのは、「本土」に住む私たちではないでしょうか。世論調査では、米軍基地を置く根拠となっている日米安保条約(体制)を約8割の人たちが支持していますが、普天間基地をどこに移設するのかという議論を、私たちはこれまでしたことがあるでしょうか。

玉城デニー知事が沖縄の現状を訴えるために、全国キャラバンを展開中です。普天間移設問題を自分事として考えるための契機として、「We love OKINAWA デニー知事トークキャラバン in 大阪」に関わり、お話をお聞きしたいと考えています。

現在、玉城デニー知事の講演会に向けて有志の会が活動中です。ここには、老若男女問わず、幅広く様々な考えや経験を持つ人たちが参加しています。

沖縄の民意を日本の民主主義に則って実現していくためには、様々な考えをもった人たちが集い、議論をしていくことが重要だと感じています。辺野古の解決を、辺野古・沖縄の現場だけに任せてはいけません。玉城デニー知事のお話を聞き、また登壇の機会を得て、「辺野古」が、日本「本土」に住む一人ひとりの問題であることに立ち返り、自分たちのことは、自分たちで意見を出し合い、話し合い、行動していくという、私たちの「現場」づくりの実践を進めていきたいと思ひます。

玉城デニーさん「トークキャラバン in 大阪」を支援する有志の会（仮）

有志の会メンバー（8月23日現在）

上田惟高（立命館大学／京都市）、梶原隆憲（カトリック教会信徒／堺市）、金城晴八（関西沖縄文庫／城東区）、狩俣栄子（沖縄に基地を押しつけない市民の会／高槻市）、河合由香里（劇団員／京都市）、金城馨（関西沖縄文庫／大正区）、小宮勇介（Roo huu doo 六風堂／三田市）、佐々木たかひろ（学習塾経営／尼崎市）、高橋淳敏（高槻市）、武田操美（舞台俳優／尼崎市）、谷本龍一（大阪市）、豊崎金猛浩（引き取る行動・大阪／西成区）、宮城善光（ミュージシャン／高槻市）、Nackintosh（アーティスト／京都市）、仲田幸司えんりけ（ポリグロットうちなーんちゅ、クィアフェミニスト／豊中市）、中村雄介（一般社団法人YDP代表／箕面市）、西尾慧吾（沖縄戦遺骨収容国吉勇応援学生会共同代表／茨木市）、松本亜季（引き取る行動・大阪／高槻市）、ミスター那覇（大阪市）、諸見里宗博（関西沖縄文庫・三線会／大正区）、余座潤美（カフェパラン／京都市）、渡里拓也（ピアニスト／奈良市）

賛同人・団体（8月23日現在）

大津留求（伊丹市会議員／伊丹市）、恩田怜（元神戸市会議員／神戸市）、神谷敦子（公財箕面市国際交流財団職員／箕面市）、木本憲雄（労組委員長／大阪市）、喜屋武邦夫（空手師範／大正区）、こいしくみこ（劇団員／東大阪市）、佐藤敬一（此花区）、四方哲（雑誌編集発行／京都市）、島征一郎（元公認会計士／奈良市）、生盛（介護事業経営／門真市）、寺田吉孝（国立民族学博物館教授／西宮市）、丹羽雅雄（弁護士／大阪市北区）、濱田英明（堺市）、日野範之（真宗大谷派僧侶、作家／摂津市）、伊丹革新懇、市民連合@いたみアクション